

会員事業所景況実態調査平成31年1月～3月分集計結果
調査依頼数:532 回答数84 回答割合:15.8%

平成30年度4回目分の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。
調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。
ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。
ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した1月～3月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	20	34	30	84	▲ 11.9	▲ 3.2
	採算	12	44	27	83	▲ 18.1	▲ 6.4
	仕入単価	1	40	41	82	▲ 48.8	▲ 35.9
	従業員	25	54	5	84	23.8	28.3
	業況	11	53	20	84	▲ 10.7	▲ 11.6
	資金繰り	5	70	9	84	▲ 4.8	▲ 6.3
建設・建築業	売上	4	6	5	15	▲ 6.7	▲ 15.8
	採算	4	7	4	15	0.0	▲ 10.5
	仕入単価	1	6	8	15	▲ 46.7	▲ 47.4
	従業員	5	10		15	33.3	42.1
	業況	3	9	3	15	0.0	▲ 26.3
	資金繰り	1	13	1	15	0.0	▲ 26.3
製造業	売上	4	5	9	18	▲ 27.8	4.5
	採算	1	8	8	17	▲ 41.2	▲ 9.1
	仕入単価	0	7	10	17	▲ 58.8	▲ 40.9
	従業員	5	11	2	18	16.7	27.3
	業況	3	8	7	18	▲ 22.2	▲ 4.5
	資金繰り	0	15	3	18	▲ 16.7	9.1
卸・小売業	売上	4	8	4	16	0.0	▲ 31.3
	採算	2	8	6	16	▲ 25.0	0.0
	仕入単価	0	9	7	16	▲ 43.8	▲ 12.5
	従業員	3	13	0	16	18.8	21.4
	業況	2	10	4	16	▲ 12.5	▲ 31.3
	資金繰り	0	14	2	16	▲ 12.5	▲ 6.3
飲食・サービス業	売上	4	9	6	19	▲ 10.5	35.5
	採算	4	10	5	19	▲ 5.3	11.8
	仕入単価	0	11	8	19	▲ 42.1	▲ 25.0
	従業員	9	9	1	19	42.1	18.8
	業況	2	13	4	19	▲ 10.5	17.6
	資金繰り	3	15	1	19	10.5	11.8
その他	売上	4	6	6	16	▲ 12.5	▲ 9.5
	採算	1	11	4	16	▲ 18.8	▲ 19.0
	仕入単価	0	7	8	15	▲ 53.3	▲ 47.4
	従業員	3	11	2	16	6.3	28.6
	業況	1	13	2	16	▲ 6.3	▲ 14.3
	資金繰り	1	13	2	16	▲ 6.3	0.0

(全体)

売上、採算、仕入単価は悪化し、特に採算、仕入単価は10ポイント以上悪化している。
一方、人手不足、業況、資金繰りは若干ではあるが改善している。

(建設・建築業)

全項目が改善され、特に採算は10ポイント以上、業況、資金繰りは25ポイント以上と大きく改善している。

(製造業)

人手不足以外は大幅に悪化している。特に仕入単価、業況は10ポイント以上、売上、採算は30ポイント以上悪化している。
さらに売上、資金繰りはプラスからマイナスに転じている。一方で、人手不足は10ポイント以上改善している。

(卸・小売業)

売上、人手不足、業況は改善し、特に売上は30ポイント以上と大きく改善している。採算、仕入単価、資金繰りは悪化し、特に採算は25ポイント以上、仕入単価は30ポイント以上と大きく悪化している。

(飲食・サービス業)

全項目で悪化となり、資金繰り以外は大幅に悪化し、特に売上、採算、業況はマイナスに転じている。

(その他)

採算、人手不足、業況は改善し、特に人手不足は20ポイント以上と大幅に改善されている。
一方、売上、仕入単価、資金繰りはわずかではあるが悪化している。

【質問 A】 3月と比較した4月～6月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	18	34	31	83	▲ 15.7	▲ 34.7
	採算	12	41	30	83	▲ 21.7	▲ 20.2
	仕入単価	1	37	43	81	▲ 51.9	▲ 41.3
	従業員	28	45	10	83	21.7	23.9
	業況	9	48	26	83	▲ 20.5	▲ 22.3
	資金繰り	5	61	17	83	▲ 14.5	▲ 6.4
建設・建築業	売上	3	6	6	15	▲ 20.0	▲ 42.1
	採算	3	6	6	15	▲ 20.0	▲ 26.3
	仕入単価	1	3	11	15	▲ 66.7	▲ 52.8
	従業員	7	7	1	15	40.0	26.3
	業況	2	8	5	15	▲ 20.0	▲ 21.1
	資金繰り	1	12	2	15	▲ 6.7	▲ 15.8
製造業	売上	3	4	10	17	▲ 41.2	▲ 36.4
	採算	2	6	9	17	▲ 41.2	▲ 31.8
	仕入単価	0	7	10	17	▲ 58.8	▲ 50.0
	従業員	6	8	4	18	11.1	13.6
	業況	2	5	10	17	▲ 47.1	▲ 18.2
	資金繰り	0	10	7	17	▲ 41.2	4.5
卸・小売業	売上	1	6	9	16	▲ 50.0	▲ 50.0
	採算	1	7	8	16	▲ 43.8	▲ 6.7
	仕入単価	0	9	7	16	▲ 43.8	▲ 31.3
	従業員	4	10	2	16	12.5	21.4
	業況	1	8	7	16	▲ 37.5	▲ 37.5
	資金繰り	0	12	4	16	▲ 25.0	▲ 6.3
飲食・サービス業	売上	6	9	4	19	10.5	▲ 11.8
	採算	5	10	4	19	5.3	0.0
	仕入単価	0	10	9	19	▲ 47.4	▲ 25.0
	従業員	8	9	1	18	38.9	31.3
	業況	3	14	2	19	5.3	▲ 5.9
	資金繰り	3	14	2	19	5.3	11.8
その他	売上	5	9	2	16	18.8	▲ 33.3
	採算	1	12	3	16	▲ 12.5	▲ 28.6
	仕入単価	0	8	6	14	▲ 42.9	▲ 42.1
	従業員	3	11	2	16	6.3	28.6
	業況	1	13	2	16	▲ 6.3	▲ 30.0
	資金繰り	1	13	2	16	▲ 6.3	▲ 25.0

(全体)

売上、人手不足、業況は改善する見通しで特に売上が20ポイント近くと大きく改善する見通しである。
採算、仕入単価、資金繰りは悪化の見通しで特に仕入単価は10ポイント以上と大きく悪化する見通しである。

(建設・建築業)

売上、採算、業況、資金繰りは改善する見通しで特に売上は20ポイント以上と大きく改善する見通しである。
仕入単価、人手不足は10ポイント以上と大きく悪化する見通しである。

(製造業)

人手不足以外は、悪化する見通しで特に業況は30ポイント弱、資金繰りは40ポイント以上と大きく悪化する見通しである。

(卸・小売業)

人手不足は解消される見通しだが、採算、仕入単価、資金繰りは悪化する見通しで特に採算は30ポイント以上、資金繰りは20ポイント弱と大きく悪化する見通しである。

(飲食・サービス業)

売上、採算、業況は改善する見通しで特に売上は20ポイント以上、業況は10ポイント以上と大きく改善する見通しである。
仕入単価、人手不足、資金繰りは悪化する見通しで特に仕入単価は20ポイント以上と大きく悪化する見通しである。

(その他)

仕入単価以外は改善する見通しでいずれも大きく改善し、特に売上は50ポイント以上、人手不足、業況は20ポイント以上と大きく改善する見通しである。仕入単価もわずかな悪化の見通しとなっている。

【質問 B】 消費税増税、軽減税率導入への準備状況について

1-1. 消費税増税・軽減税率への準備はしていますか？

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1: 準備している	4	5	8	7	3	27
2: 準備していない	10	12	9	12	12	55
(1)これから準備する予定	5	4	4	5	7	25
(2)どのように準備していいか分からない	4	3	3	5	2	17
3: その他		1		1		2
合計	23	25	24	30	24	126

その他: ●消費税増税とともに廃業する企業が増えることへの準備も必要。(得意先廃業に伴う

代替生産・販路拡大)(製造業) ●業種的に関係ない。(飲食・サービス業)

「準備している、これから準備する」と回答した割合が約40%、「どのように準備していいか分からない」が13%と合わせて約半数以上が消費税増税・軽減税率の準備への対応ができていないことが分かる。ご相談のおありの方は当所までぜひお気軽にお問合せ下さい。

1-2. 具体的にどのような準備をしましたか(する予定ですか)? ※複数回答可能

※質問1-1で1、2(1)にチェックした方から回答

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. 会計・経理・受発注システム(レジの入替え等)の変更	3	6	7	8	5	29
2. 既存の商品・サービスの価格見直し		2	3	6	2	13
3. 新たな取引先の開拓		1		1		2
4. 新商品(テイクアウトや組合せ商品など)の開発				1		1
5. キャッシュレス決済の導入	1		4			5
6. 消費税5%のポイント還元制度への参加申込み	1					1
7. 従業員への教育・周知	3	7	5	5	3	23
8. その他		1				1

その他: ●顧客を事業者から個人への変更。(製造業)

1-3. 商工会議所からどのような支援を希望しますか? ※複数回答可能

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. セミナーの開催		2	5	4	2	13
2. 冊子やパンフレットなどの配布	4	6	5	7	5	27
3. 専門家(税理士・中小企業診断士など)個別相談会の開催		4		3		7
4. 補助金制度の情報提供・申請支援	6	7	5	4	3	25
5. その他				1		1

セミナー内容: ●キャッシュレス詳細について(卸小売業) ●日銀新潟支店長を講師としたセミナー(その他)

その他: ●セミナー、相談会の開催は日曜・祝日を希望。(飲食・サービス業)

希望が多い「冊子・パンフレットの配布」、「補助金制度の情報提供・申請支援」にこれまで以上に力を入れてまいります。また、セミナーについては開催日時についての希望もあるので、6月中旬よりインターネットセミナーを当所HPからID、パスワードを入力すると、ご覧できる会員限定サービスを行いますので、ぜひご利用ください。後日、チラシを郵送させていただきます。

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点

※複数回答可能

項目	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. 売上が上がらない	6	9	8	8	3	34
2. 利益が上がらない	6	7	8	6	3	30
3. 消費・需要の停滞	2	4	8	1		15
4. 仕入価格(原材料費)の上昇	5	12	5	5	4	31
5. 販売単価、受注単価の低下	2	3	2	2		9
6. 後継者不足	2	3	3	1	1	10
7. 大型店等の進出等による競争の激化			2	2	1	5
8. 従業員不足	5	6	2	5	2	20
9. 従業員の技術力不足	2	8	1	1	4	16
10. 事業資金の借入難	1	2		1		4
11. 商品在庫の過剰			4			4
12. 消費者ニーズの変化への対応	1	2	3	3	2	11
13. その他			1		1	2

その他: ●インターネットでの販売(卸小売業) ●営業力不足(その他)

依然として、売上・利益の不振、仕入単価の上昇、人手不足が上位を占めている。

【質問 D】 行政や当所に対するご意見・ご要望

- 公共工事発注を平準化してほしい。(建設・建築業)
- 当社だけでなく同業種の方達も仕事の発注が少なく、このままでは赤字が続き廃業も考えている。(建設・建築業)
- 中小企業生産性向上設備投資補助金の補助率を20%に戻してほしい。(製造業)
- 道路インフラ整備を加速してほしい。(その他)